

建築学科 専門教育科目連携表 (2022年度入学生)

1年		2年	
前期	後期	前期	後期
01:環境・地域分野	地域のデータをまとめ、見える化を実現	L20102 データ解析演習	
	地域の環境問題の理解	L20104 自然生態学	L20105 環境水理学
	地域のくらしの理解、活性化に必要な知識		
03:建築設計製図分野	CAD	L10301 CAD製図	L20302 CAD1
	L10305 基礎製図		L20306 設計製図1
			L20307 設計製図2
04:建築計画分野	L10401 建築計画1		L20402 建築計画2
	建築を設計するための理論、計画法		L20403 住居論
	空間デザイン	L20404 スペースデザイン	L20405 モダンデザイン
		建築史	L20407 日本建築史
05:環境・設備分野	室内環境	L20501 インテリア環境工学	L20502 建築環境工学
06:構造力学分野	L10601 構造力学1	L10602 構造力学2	L20603 構造力学3
		L10604 材料力学	構造・建物の力学
07:建築一般構造分野		L20701 建築一般構造	建築一般構造、仕上
			L20702 構造設計1(木造)
08:建築材料分野	材料の性質	L20801 建築材料実験	L20802 材料工学
11:工学基礎分野	L11101 線形代数1	L11101 線形代数1	
	線形代数	L11102 線形代数2	
	L11103 微分積分1	L11103 微分積分1	
	微分積分	L11104 微分積分2	
		L11105 工学概論	
12:研究・資格・インターンシップ分野	L11201 プロジェクト1(地域づくり実践入門)	L21202 プロジェクト2(地域づくり実践応用)	
	L11207 建築フィールドワーク	L11207 建築フィールドワーク	職業観(認定制)
	L11208 インターンシップ	L11208 インターンシップ	プロジェクト・研究

カリキュラムツリーとしてご活用下さい。○自らの単位修得状況を体系的に確認するために、これまでに修得した科目の枠内を色付けしましょう。(修得した科目の成績評価によって色を塗り分けてみるとさらに状況理解が深まります。)

建築学科 専門教育科目連携表 (2022年度入学生)

3年		4年	
前期	後期	前期	後期
L30103 地理情報処理演習			<ul style="list-style-type: none"> ・この表は専門教育科目について、科目相互の関係性を表したものです。 ・科目名の前にある6桁の英数字は科目ナンバリングコードです。大分類(1桁)、難易度(1桁)、科目分野(2桁)、分野別の連番(2桁)で構成されています。(学生便覧13ページを参照) ・網掛をしている科目は学科共通の必修科目です。(コース必修科目、コース選択必修科目には網掛はしていません)
L30108 地域再生論			
L30201 技術者倫理	技術倫理	02:建設基礎分野	
L30202 測量学及び実習	測量		
L30303 CAD2	L30304 CAD3	02:建設基礎分野	
L30308 設計製図3	L30309 設計製図4		
		L40310 設計製図5 設計・製図	
	L30406 リフォーム		
L30408 世界建築史			
L30409 都市計画	L30410 ランドスケープ 都市の計画、景観		
建築設備	L30503 建築設備		
	L30605 地盤工学		
L30703 構造設計2(鉄骨造)	L30704 構造設計3(RC造)		
L30901 施工1 建設施工、維持補修、積算・原価管理	L30902 施工2 建設マネジメント演習及び実習	09:建築生産分野	
L31001 建築法規1	L31002 建築法規2		
		10:建築法規分野	
L31203 プロジェクト3(環境・地域創造演習)			
L31204 研究ゼミナールA	L31205 研究ゼミナールB	L41206 卒業研究	